

記録アプリに「お薬手帳」

神戸デジタル・ラボ（神戸市）が開発・販売している介護事業者向けiPadアプリ「ケア記録アプリ」に、処方箋データが自動的に反映される「お薬手帳」機能が新たに追加された。



▲機能トップ画面



▲薬情報詳細画面

利用者のバイタルや食事量、排泄などの情報を記録できる「ケア記録アプリ」の特徴は、キーボードや定型文に加え、iPad上で手書き入力したテキストも自動的にデジタル化

できるため、端末を使うのが苦手な人でも簡単に記録業務が行えること。複数のiPadを使用しても、データをクラウド管理しているため、リアルタイムで記録内容を共有できる。グループホームや特別養護老人ホームなど約100事業所で導入されているという。今回追加された「お薬手帳」は電子お薬手帳「EPARKお薬手帳」を全国展開しているフリービットEPA

処方箋を転送 月額5000円で

RKヘルスケア（東京都渋谷区）が提供。「ケア記録アプリ」を利用して介護事業所の入居者が病院で処方を受け、調剤薬局などに処方箋を提出すると自動的にデータがアプリ内に転送されるもの。これまでの処方履歴も記録されるため、薬の増減や変更もわかりやすく、複数の病院からの処方箋が時系列に記録される。

「職場環境向上」学ぶ 事業者の信頼度アップ



一般社団法人日本元氣シニア総研 八久保宜美研究委員

一般社団法人日本元氣シニア総研（東京都渋谷区）が主催する「職場環境向上支援員認定講座」の介護事業編が11月4日、都内で開催される。

「職場環境向上支援員」とは元氣シニア総研が認定する資格で、今回の講座は初開催。プログラムの主なテーマは「ES（職員満足）なくしてCS（利用者満足）なし介護職員を支える役割と介護事業の基本を知り職場のルールやマナーを守る」「業務の流れをPDCAで理解して職場の負担軽減を工夫する」「職場の課題をフレームワークで整理してわかりやすく説明をする」。講師は同団体の研究委員として活動するスリービーンズの八久保宜美社長。会場は渋谷区文化総合センター大和田で受講料は2万円（認定登



▲ツールに活用できるのびりを進呈

録料込）。定員は30名。講座受講者には事業所のPRツールなどに活用できる「職場環境向上宣言」ののびりが進呈される。同資格の発起人である八久保社長は「介護事業所の共通の課題は、職員の定着と利用者の確保です。事業所の働きやすさをアピールすることは、人材採用にも利用者の信頼を得ることに繋がります」と話す。

ICカードで参拝 モダンデザインの納骨堂

武蔵野御廟（東京都千代田区）は東京都台東区に開苑したモダンデザインの納骨堂「蔵前陵苑」の販売を開始した。運営は550年の歴史を持つ満山眞敬寺。

ICカード1枚で参拝できる自動搬送式の参拝システムを採用した。宗派不問のため、門徒加入、寄付の強制はない。葬儀から納骨までサポートできるように、客殿や本堂



▲墓参室



▲法要室

養老産業発展へ 高齢者事業推進

中国高齢者介護ビジネス市場説明会（主催：上海市民政局・上海市高齢者工作委員会 弁公室・上海市国際貿易促進委員会）が先月都内で開催され、中国の介護市場の現状や中国ビジネスにおける秘訣について紹介された。

中国の「第13回5カ年計画」では、養老サービス産業の発展に向け、高齢者事業を推進していく方針が打ち出されている。中国は日本と同様、在宅介護の強化や介護と医療の

融合を進めている。同イベントの企画運営を行った日中福祉プランニングの王青代表によると、近年はハードよりもソフト面を重視する介護事業者が増え、日本の認知症ケアや着取りの経験を活かせる可能性が広がっているという。

成功のカギは「現地に任せる」

中国ビジネスの秘訣紹介



▲当日の様子

現地法人とタッグを組み、経営や決定権を委ねられるか、またいかに現地のニーズを掴

み、さらにリバースインベションを起せるかが鍵となる。早い決断が求められる中国ビジネスでは、一般的に使われているコミュニケーションアプリWeChatを活用することも大切である」と話した。



▲墓参室



▲法要室

経営に欠かせない業界最新事情を一流講師陣が語る

医療・介護の マネジメント層対象 高齢者住宅フォーラム

マイナス改定もこわくない！ 業務効率化で変わる介護経営

～やさしい手が取り組む実践策を紹介～

来年に迫るダブル改定は、第7次医療計画・第7期介護保険事業計画・第3期医療費適正化計画のスタートと相まって、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目となる。社会保障費の抑制は国の最大のテーマであり、厳しい報酬改定が予想される中、設けられる加算を着実に算定することは重要だ。ダブル改定を追い風にして、今後の介護事業展開において勝ち組になるためにはどのような準備や取り組みを行っておけば良いのか、やさしい手の事例を交えながら実践的に紹介してもらう。

- 重度者対応と軽度者向け自費サービス
- 地域包括ケアシステム構築に向けて「看多機」が果たす役割
- 各種加算の着実な取得に向けたやさしい手の取り組み
- 人材難の打開策は業務量圧縮・業務効率化
- スムーズな医療・介護の情報連携
- 職員の役割明確化と評価・管理の重要性
- 加算算定のカギとなるエビデンスの記録方法



講師

香取 幹氏 株式会社やさしい手 社長

- 開催場所 TKP東京八重洲カンファレンスセンター（東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング）
- 参加対象 医療機関、介護事業者など
- 参加費 2万円（1名につき）2名以上参加の場合、1万5000円（1名につき）※いずれも消費税、資料代含む
- 定員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加申込方法
TEL.03-3543-6852 FAX.03-3543-6853
info@koureisha-jutaku.com

参加希望の方には申込書をお送りしますので、メール・TEL・FAXにてお問い合わせ下さい。ホームページにも詳細があります。
http://www.koureisha-jutaku.com

お問い合わせ (株) 高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-6852